

救急科・集中治療科

救急科統括部長 本間 洋輔

集中治療科統括部長 立石 順久

1 部門目標

- ・救急科専門医が、救急外来（ER）ですべての救急患者の初期診療に対応する。
- ・内科系・外科系を問わずあらゆる救急疾患に対し適切な初期診療を提供し、他科と協力して治療にあたる。
- ・断らない救急を目標とし、千葉市の救急医療体制に貢献する。
- ・病院救急車を活用し病病/病診連携を促進する。
- ・救急外来診療を通じて初期研修医教育の充実を図る。

2 業務体制・スタッフ

- ・救急科専従医：本間洋輔、立石順久、石丸忠賢、國谷有里、石垣佳織
- ・救急科スタッフ（兼任）：川名秀俊、加藤真優
- ・非常勤医：千葉大学医学部附属病院救急科医師
東京ベイ浦安市川医療センター救急科医師
織田成人、森田泰正
- ・初期臨床研修医：1～3名
- ・病院救命士：5名

3 業務実績

救急科受け入れ患者数

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
救急科受け入れ患者数	1885	2846	3012	3653
帰宅	1249	2047	2213	2603
入院	510	668	726	986
他院へ搬送	126	98	60	64

救急搬送件数

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
小児	1716	1127	1586	2329	3005	2310
成人	3046	2680	2791	3287	3640	4006
合計	4762	3807	4377	5616	6645	6316

病院救急車運行件数

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
送り搬送	1	13	231	375
迎え搬送	1	19	254	219
合計	2	32	470	594

MET 対応件数

令和 3 年度 47 件

令和 4 年度 52 件

令和 5 年度 52 件

令和 6 年度 40 件

集中治療室利用状況

		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 5 年度
入室患者数			(ICU/HCU 重複あり)	(ICU/HCU 重複あり)
	外来/他院から	334	484	496
	病棟/OR から	98	231	362
	合計	448	715	858
診療科				(同上)
	救急科	127	173	236
	循環器内科	126	131	171
	小児科	74	140	130
	心臓血管外科	44	72	95
	内科（含消化器）	42	43	31
	産科	14	0	2
	外科	12	18	48
	脳神経外科	6	135	143
	その他 (泌尿器科、耳鼻科など)	2	3	2
使用機材				
人工呼吸器（人）		83	150(NPPV 含)	148(NPPV 含)
NPPV/HFNC（人工呼吸器併用除く）		33	44(HFNC のみ)	50(HFNC のみ)
血液浄化	24	26	24	44
ECMO			6	5

4 1年間の総括

今年度は医師および救命士を増員するとともに、診療体制を整え救急外来および ICU に医師が日勤常駐する体制を整え、救急科当直日を増やすことができた。その結果、救急外来での救急患者の受け入れ、ICU/HCU への重症患者の入室数を増やすことができた。昨年度から引き続き病院救急車による病病連携/病診連携を整え、R6 年度は約 600 件の要請を受けることができた。

また非常勤医師による支援でベッドサイド教育はいわゆる屋根瓦式の教育がより充実してできるようになった。症例振り返りカンファレンスの開催、他病院との合同オンライン勉強会による医師の教育体制の構築のみならず、院内職員との院内急変シミュレーション、ICLS、倫理カンファ、千葉県消防局との合同カンファレンスの実施など、院内外のメディカルやプレホスピタルも巻き込んだ教育体制をつくることができた。

5 今後の目標

- ・スタッフを増員することでライフワークバランスを維持した上で ER の対応時間をさらに拡大し、市内での救急需要に応えることができる体制整備をすすめる
- ・各科の協力を得て ICU に集中治療管理に長けた医師が常駐できるようにシステム整備をすすめる
- ・病院救命士を増員、常勤化することでタスクシフトおよび集患を進め、さらに市民にとって頼られる救急外来と集中治療を構築していく